

東京
会場

介護現場の介護・看護・医療職のスキルアップ研修会

生活リハビリ講座 2011

会場 全林野会館
東京都文京区大塚 3-28-7 (地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より歩 10分)

時間 いずれも 10:30 ~ 15:30

後半④ 9月10日 土 後半⑤ 10月 8日 土 後半⑥ 11月12日 土

参加費 1回：5,000円 (1回ごとに受付でお支払いください)
後半3回：12,000円 (後半3回分のパスポートをお渡しします)

前半3回 (①~③)・後半3回 (④~⑥) 全6回 ※前半は終了しました

介護の専門性とは何か ~認知症ケアを中心に~

講師：三好春樹

寝たきり老人、障害や病気をもった老人、そして認知症老人の介護
の考え方と方法を提出してきた講師による最も基本となる内容。
介護の専門性は、医療を看護とどう違うのか、そのあり方と方向性を示す“元気の出る講座”。

テキスト：「介護の専門性とは何か」

後半⑤ 生活づくりの介護 ~認知症ケアの基本は食事、排泄、入浴~

講師：三好春樹

医療や看護が治療の方法であるのに対して、介護はく生活の場
>の方法論。認知症や片マビといった障害のある老人一人ひとりの
生活を手づくりすることこそが求められている。最大のポイントは、
老人こそが身体と生活の主体になること。食事、排泄、入浴を安静看護とは違うやり方で提案する。

テキスト：「生活障害論」
「ウンコ、シッコの介護学」

後半⑥ 関係づくりの介護 ~なぜこの現場は認知症老人が落ち着いているのか~

講師：三好春樹

認知症老人をはじめ、人が落ち着くのは何より「人」によってである。個体だけ
を見るのではなく、どんな関係の中にいるのかを評価し、一人ひとりが求めている
関係を手づくりすることこそ認知症ケアのみならず老人ケアの基本中の基本。
認知症老人とのコミュニケーションに悩む現場スタッフこそ参加を。

テキスト：「関係障害論」
「認知症論集」

問合せ・申込先 生活とりハビリ研究所

〒171-0014 東京都豊島区池袋2丁目17-8 TEL 03-5992-0920 FAX 03-3590-0829
E-mail rihaken@oak.ocn.ne.jp HP <http://www.mdn.ne.jp/~rihaken/>

※受講票は開催の1か月前よりお送りします。満員でお断りの場合のみ、お申し込み後7日以内にご連絡いたします。

切り取り線

生活リハビリ講座 2011 東京会場 受講申込用紙

代表者 氏名		後半④	名
代表者 住所	〒 □□□-□□□□	後半⑤	名
		後半⑥	名
日中連絡先TEL		FAX	